



ひがしそのが

議会だより

第 155 号



8月7日 長崎県消防ポンプ操法大会（大村市にて）

9月定例会

平成27年度会計決算	2 ページ
まちづくり支援交付金事業実施状況	3 ～ 4 ページ
平成28年度補正予算	4 ページ
町政を問う！ 6人が一般質問	5 ～ 7 ページ
条例の制定等	8 ページ
議会活動報告	9 ～ 10 ページ

平成27年度まちづくり支援交付金事業実施状況

ソフト事業（補助額上限20万円）

(単位：円)

事業主体及び代表	事業費	補助額	事業要旨
スマイルクローバー 代表 澤登 舞 他5名	130,720	130,000	講演会の実施
東彼杵町ロケを支援会 代表 藤澤恭匡 他4名	249,511	117,000	東彼杵町映画上映活動
ゆるラジオ体操大作戦チーム 代表 古達勇樹 他6名	200,140	200,000	ラジオ体操及び朝活による地域活性化
中岳地区	147,528	147,000	深澤様夏祭り用のぼり作成
坂本地区	337,907	200,000	稲刈り体験と長崎国際大学との交流
木場地区	216,202	200,000	ふれあいの集い
長崎玉緑会 代表 福田新也 他4名	201,000	200,000	九州和紅茶博覧会 in お台場参加
東宿地区	276,220	200,000	ふるさとふれあい交流及び3世代親睦会
そのぎ茶レンジランド 代表 木下 啓 他13名	183,724	183,724	HYAPPYチルドレンシティー開催
自由演奏inひがしそのぎ実行委員会 代表 藤澤恭匡 他4名	272,134	192,000	自由演奏会の開催
東そのぎグリーンハート児童合唱団 代表 田中タケ子 他12名	163,461	163,000	イメージアップ加入促進事業
赤木の棚田と自然を守る会 代表 佐野優子 他4名	199,377	199,000	休耕地の有効活用
菌ちゃんいっぱいふやし隊 代表 佐野優子 他5名	200,319	200,000	菌ちゃんワークショップ向け情報発信
ミエルカソノギ 代表 佐野優子 他4名	200,211	200,000	東彼杵町PR情報発信
合 計	2,978,454	2,531,724	



中岳地区



木場地区

平成27年度会計決算、全て認定

歳入歳出決算額

(単位：千円)

会計別	歳入総額	歳出総額	差引残額	差引残額の内翌年度に繰り越すべき額
一般会計	5,414,553	5,237,886	176,667	81,130
国民健康保険事業特別会計	1,482,481	1,426,104	56,377	0
介護保険事業特別会計	834,132	789,670	44,462	0
公共用地等取得造成事業特別会計	7,984	7,675	309	0
簡易水道事業特別会計	615,687	603,779	11,908	2,000
農業集落排水事業特別会計	36,458	36,452	6	0
漁業集落排水事業特別会計	5,975	5,975	0	0
公共下水道事業特別会計	447,697	446,324	1,373	0
後期高齢者医療特別会計	97,114	96,483	631	0
合 計	8,942,081	8,650,348	291,733	83,130

平成27年度一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算については上表のとおり差引残は291,733千円となった。

歳入で、ふるさとまちづくり応援寄付金が42,404千円（対前年度比33,733千円増）となったのは評価されるが、依然として自主財源（25.5％）が乏しく、国庫支出金や地方交付税に対する依存度が高い。

国、県の有効な補助事業活用は必然であり、今後は地方創生事業への取り組みが重要課題である。町、議会、住民が一体となった対応が必要であろう。

また、厳しい財政のなか慎重な予算執行が求められる。

吉永 秀俊 議員

町有財産の現状と管理状況について

【議員】むつみ荘2階では、にこにこハウスが、改善センター1階では、わくわくハウスが学童保育を運営されているが、学童保育は帰宅しても保護者がいない児童のため、宿題の手伝い、土曜、夏休みにも運営して学習支援・子育て支援の貢献をされている。利用料金などはどうなっているのか。

学童保育の貢献度、必要性を考えると無料にすべきではないのか。

【町長・財政管財課長】学童保育は本来なら町が行わなければならない事業である。にこにこハウスが月額5千円と光熱費、わくわくハウスが月額1万円の利用料金を貰っている。今後、料金の見直しを検討したいと思う。



一般質問

（本稿は質問者の責任で作成しています）

寄贈された道の駅の増築建物のその後は

【議員】寄贈された道の駅の増築建物は現在売り場になっている。6月の答弁では、売り場面積に応じた賃貸料金を貰うとの事でしたが、その後、どのような契約が交わされたのか。

【町長】財産処分審議会を開き、単年度契約で、評価額の二分の一の月額6千円を6月から貰っている。

明治の民家の管理状況と今後の計画は

【議員】明治の民家は約2千3百万円で改装され、町長は当初「町の迎賓館として利用したい」と議会では説明されていたが、今年になって、「同窓会など大いに利用して頂きたい」と、異なる活用を提案された。利用料金の設定や今後の利用計画などどうなっているのか。

【町長】確かに答弁が変わったのは申し訳ないと思っている。今後は国土交通省の重点道の駅の計画が出てくるので、効果的な利用計画を策定したいと思っている。また、利用料金や仕様書な

どはまだ作成していない。

【議員】平成13年から町有地を賃貸して始められた「長崎そぎ茶萌香園」では、他のお茶農家同様に、あら茶の売り上げが半減している。借地料の減額はできないのか。

【財政管財課長】平成25年度から減免申請により減額しており、特に本年度からは37万円に減額している。

千綿駅の管理状況は

【議員】千綿駅は来年3月までUMIHICOに無償貸し付けされるようになっているが、その後の計画は。

【町長】千綿駅だけでは生計が成り立たないので12月で終わりたいとの申し出が本人より出ているので、契約を12月末で終了する。管理者の公募を行い千綿駅の更なる活用をしたい。

【議員】千綿駅敷地内にあるタクシー車庫の宅地料と所有者は。

【財政管財課長】年額2万5912円頂いている。車庫と住居は別の所有者になっている。

【議員】町有地に建てた住宅で家賃を貰っていれば違法ではないかと思われるが、現状は。

【財政管財課長】現在、家賃は貰っていないとの事である。

浪瀬 真吾 議員

小学校統合の成果と中学校を含めた今後の課題は

【議員】子ども達の教育環境をどのように図り、切磋琢磨する環境を整えていくかという事で、大楠・音琴・彼杵3小学校が統合されたが、以前と比較してどんなことが感じられるか。

【教育長】三年生、六年生（153名）までのアンケートで、統合して良かった（88%）、良かった（4%）、どちらでもない（7%）で、良かったという意見の中では、友達が増え、触れ合いが多くなり、みんなで遊べて学校が楽しくなった。いろいろな考えが聞ける。良きライバルができた。良くなかった・どちらでもない意見では、教室が狭くて窮屈、暑い、喧嘩



が増えた、うるさくて集中できない、キャンプや茶摘み等の行事がなくなったなどの意見があった。大楠や音琴の子ども達は、今まで少人数であったのが、233名と多くなりいろいろな点で喜んでいく。

保護者については、79名から意見等があり、約90%が良かったとの回答。子ども達の順応性が高いうまくいっている。

【議員】社会体育等ではどうか。

【教育長】今まで対戦相手としての意識が強かったが、今ではチームの一員としていい方向に向かっている。選べる種目が増え喜んでいく。授業や社会体育等で切磋琢磨する姿が見られるようになった。

【議員】中学校の統廃合については。

【町長】中学校については、先般教育総合会議を開き、10月ぐらいに教育委員会で懇話会を開催してもらおう。出来たら29、30年度で方針がでないか検討されている。子ども達のための統合なので英断をもって行う。私が

やらなければならぬかと思うので、30年度までにめどをつけ、財政が何とかなるうちに、統合しないと大変なことになる。

ふるさと納税制度の進捗と今後の方針は

【議員】ふるさと納税制度の取り組みと成果は。

【町長】平成27年度は、4千2百万円貰った。

【議員】ふるさと納税の本町からの流出はないか。

【町長】平成27年度は、2百53万3千円流出している。

【議員】ポイント制の導入は出来ないか。

【課長】検討はしたが、総務省からの指導もあり品物を沢山揃えなければならぬので難しい。

【議員】コンサルタントなどへの委託は考えられないか。

【町長】納税を増やすためのコンサルタントは考えていないが、住民のいろいろな特産品を作るためには必要になる。

【議員】返礼品のインパクトある品物の看板設置を、道の駅に出来ないか。

【町長】検討・検討ばかりでなく是非やりたい。

ハード事業（補助額上限400万円）		（単位：円）	
事業主体及び代表	事業費	補助額	事業要旨
中岳地区 代表 富岡 明	1,500,000	1,200,000	中岳運動公園の総合整備
蕪地区 代表 野口幸義	6,070,000	4,000,000	ふれあい農村交流施設整備
赤木の棚田と自然を守る会 代表 佐野優子	1,836,434	1,469,000	粉碎機等の購入、格納庫改築
菌ちゃんいっばいふやし隊 代表 佐野優子	1,191,733	953,000	ワークショップ用ビニールハウス設置、厨房設備設置
合 計	10,598,167	7,622,000	

その他、活性化関係事業費

- * 東彼杵町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定業務497万6640円
- * 地域集落点検調査業務339万9840円
- * 旧JA米倉庫（小さな拠点）施設整備工事1907万2800円
- * 東彼杵町景観計画策定業務572万4000円
- * 東彼杵町空き家実態調査業務378万円
- * 写真によるまちづくりプロジェクト496万8000円
- * 東彼杵町コミュニティ活性化支援事業123万4394円
（東そぎ七夕まつり そぎ川まつり ファーマーズトラック市）
- * 田舎暮らしプロジェクト113万6508円
- * 町イチ！村イチ！参加105万4418円

28年度一般会計補正予算

歳入歳出にそれぞれ5726万円を追加し総額をそれぞれ53億1304万1千円とするもの。

歳出の主なものは、地域づくり推進事業費としてお試し住宅整備工事費2020万円、（同設計委託料227万8千円、工事管理委託料272万2千円）、起業家支援補助金追加（瀬戸郷に新規パン屋）300万円、小さな拠点連携事業（ナガサキプロジェクト）300万円、長崎県小さな楽園づくり交付金（緑の会）200万円、3世代同居・近居促進事業補助金200万円等。

28年度介護保険事業特別会計補正予算

歳入歳出にそれぞれ2600万7千円を追加し総額をそれぞれ9億2300万7千円とするもの。

28年度公共下水道事業特別会計補正予算

歳入歳出にそれぞれ510万円を追加し総額をそれぞれ3億3070万円とするもの。



立山 裕次 議員

東彼杵町ふるさと交流センターの内容は

【議員】9月より「町観光協会」に変わり発足した「東彼杵町ふるさと交流センター」の運営はどのようなものか。

【町長】会長は私が引き続きします。その他の役員等も基本的には変更ありません。職員としては元地域おこし協力隊の方を採用し、事務所を当面まちづくり課に置くようにしている。

【議員】今後の事業計画はどうなっているのか。

【町長】町内外への情報発信をしていきながら、移住・定住推進の継続をしていく。又、いずれは収益を上げなければいけないので、道の駅や明治の民家等を活用し、体験型や着地型の観光を推進していく。



大石 俊郎 議員

役場新庁舎建設費用、どの程度必要か

【議員】新庁舎を建設した場合の建設費用は。又庁舎を移転した場合、移転費用はどの程度必要か。

【町長】手当てをしていない本館については、大地震発生の際、大きな被害を受けると思う。全面建て替えをした場合、約12億円から14億円と推定される。移転費用については、見積もりをしていない。(現在、新庁舎建設準備基金、約8千5百万円積み立て中)

【議員】移転を前提とした総合会館等活用の為の検討委員会的な組織設置は考えておられるのか。

【町長】今は考えていません。絵に描いた餅でございまして。その時期がくれば、検討委員会的な組織を検討したい。

【議員】大村駐屯地との定期的な防災会議は実施しておられるのか。又、その必要性は。

【町長】大村駐屯地との防災会議は定期的には実施していない。毎年6月に、町の防災会議を実施している。その時、大村駐屯地の業務隊長に出席を頂いている。(第16普通科連隊長に防災関連の権限があります。)

物産店舗の契約は、来年3月末で自動更新か

【議員】PFI法の5原則の1つである「民間業者の選定にあたっては、公平性を担保される事」という文言があるが、公募せず来年3月末に自動更新する事になれば、この法律に抵触する事にならないか。

【町長】PFI法で作っていないので、該当しない。民間資金を活用した事業であるので、全く関係がない。公平にやった方が一番いいが、更新を拒絶する理由がないのが現実である。

【議員】来年3月末に更新時期を迎える物産店舗の契約はどのような契約

になるのか。又、契約の期間は何年を考慮しておられるのか。

【町長】食堂棟と同じような定期借家契約に基づいた契約になると思う。期間については、食堂棟の契約と見比べると、契約の段階で検討すべきと考えている。

【議員】議会への説明は、何月議会を考慮しておられるのか。

【町長】議会への議決は必要ない。契約をしたという説明はしてもいいが、するとすれば12月でしょう。

【議員】(株)彼杵の代表者に譲渡された目的は何か。又、何故この時期だったのか。

【町長】売却した理由は、15年経過し、役目を果たしたと思っている。期的には、たまたま総会があったからお願いした。【議員】株券の売却は公募すべきだったのでは。【町長】役員会の方針、承認を受けて、譲渡するようになっている。その決定に基づいて、(株)彼杵の代表者に買って頂いた。



岡田伊一郎 議員

農業の労働力確保は

【議員】農業就業者の減少や高齢化の進行で、労働力不足が予想されるが、その対応については。

また、農林水産省が実施している「農業労働力最適活用支援総合対策事業」への取り組みについて、町単独でも可能か。

【町長】将来は農家の減少で、戸数は今の半分くらいになると予想される。防除にドローン使用を促進するなど、農作業の省力化に努めていきたい。

【農林水産課長】JAながさき県央を中心に県央管内の大村市、諫早市と東彼杵3町が連携して、県央地域雇用労働力支援協議会を設置して取り組んでいる。

内容としては、地域労働力調査や農家の労働管理能力向上支援などをおこなっている。

で、誰もが声を出しやすいようにしていく。

【議員】昨年度、平戸市や時津町では全職員を対象に接遇研修をしているが、本町でも行ったらどうか。

【町長】今まで何度も言っているのですが、研修をする意味はないと思う。

【議員】住民の中には出来れば役場に行きたくないという声も聞かれますが、町長の耳には入っていないか。

【町長】私もそういう声を聞くが、先ほども述べたように環境を整えることが先決と思うので、各課長に頑張ってもらいたい。

【議員】先程から聞いているとやっても一緒と答弁されていますが、住民の為に、職員を育てる為にも研修は必要ではないか。

【町長】接遇に係わらず職員研修を行いたいと思っているのですが、予算を計上し、早ければ12月以降に実施したい。



口木 俊二 議員

旧大楠小学校のサマースクールの今後の予定は

【議員】きのくに子ども村学園を積極的に誘致されるとありますが、町内だけの児童を対象にするのか町外も含めたものになるのか。

【町長】私立の学校なので行政のほうでは関わらない。運営手段は学校側でやるので意見は持っていない。

【議員】地元との問題はなかったのか。

【町長】6月24日に地元説明会をしたが特に問題は把握していない。

【議員】授業料が高いように思われるがどう考えているのか。

【町長】学校側が決めるものだ。

こなっている。農林水産省の事業については、広域的な労働力支援システムの構築を図る方が、事業成果が期待でき、単独でも可能であるが、労働力確保戦略センターの設立や業務内容においても馴染まない。

農作業の省力化については町単独事業でのソフト、ハードはないが、国等の補助事業を活用し、茶、ミカン、イチゴ、アスパラガス、タマネギ、水稻の農業機械の導入や施設設備等に取り組んでいる。

【議員】今回実施された小中学生のオランダ訪問は、児童生徒にとっても大変有意義ではありますが、3泊5日の日程では少し短いのではないかと。シーボルト関係でオランダになったと思いますが、国際的感覚を身につける目的であればオーストラリアやカナダ、アメリカなども対象として考えられるのか。

国際交流事業の取り組みは

【議員】今回実施された小中学生のオランダ訪問は、児童生徒にとっても大変有意義ではありますが、3泊5日の日程では少し短いのではないかと。シーボルト関係でオランダになったと思いますが、国際的感覚を身につける目的であればオーストラリアやカナダ、アメリカなども対象として考えられるのか。



【議員】訪問先の決定は長崎とオランダのつながりや、シーボルトとの絵師である川原慶賀が描いた町景色の絵画が貯蔵されているライデン市となった。他市はホームステイなどで、7泊8日を実施されている所もあるが、今回は小学生もいたもので、このような日程になった。今後は、予算の関係もあるが、ホームステイも視野に入れ検討したい。可能であれば、当初予算計上が望ましいと考えている。

旧音琴小学校のこれらの課題と問題点は

【議員】旧音琴小学校では、オープンAという東京の会社が2、3日宿泊して学校周辺の環境や地域性等をリサーチするに聞いているがどうなっているのか。

【町長】この会社が2、3日の宿泊を繰り返し学校周辺のリサーチをして地域の住民に報告をするようにしている。その間地域の住民を従業員として雇い、最終的には地元で運営してほしい。

【議員】この会社は不動産を運営されていると思いますが、これまで廃校になった校舎に携わったことがあるのか。

【町長】これまでに23件の実績がある。9月5日に契約が終了している。リノベーション(改良)や公共空間の活用の提案そして地元住民への説明会を実施する。

【議員】「ソノコト」の座談会の内容は。

【まちづくり課長】約30名の参加があった。まちづくりには成功も失敗もない。自分事としてとら

えていない。つながりが一番必要である。

【議員】廃校舎のこれらの管理方法は。

【町長】町でも出来るが税金がかかってしまう。出来れば地元でやってほしい(無償とはいわない)助成ができればしたい。

こども発達障害の支援は

【議員】彼杵小学校にはコスモス学級と青空学級があるが参観されたことがあるか。

【教育長】勿論ある。充分ではないが参観している。目配り・気配りが必要である。

【議員】今後の支援策は、そしてどのような制度があるのか。

【教育長】県でも施策を講じようとしている。法律で定められた差別解消法というのが4月から始まっている。来年度から川棚特別支援学校に高等部が新設される。

【議員】特別支援員の授業の時間延長は。

【教育長】検討したい。

議会活動報告

産業建設文教常任委員会

平成28年7月8日：佐世保肉センター

第24回東彼杵郡町村会肉牛共励会に出席し、農林水産課長、出席農家、農協関係者などから審査基準・審査方法や肥育農家、繁殖農家の現状についての説明を受けた。現在、町内では兼業を含め肥育農家16軒で1,032頭、繁殖農家12軒で284頭が飼育されている。本町の27年度肉用牛売り上げ高（子牛売り上げ約7千万円を含む）は、7億円弱で枝肉平均価格も26年度と比較して、キ口当たり400円ほど高くなっているが、子牛の高騰や飼料価格の高止まりで農家の経営は依然として厳しい状況が続いている。



平成28年8月30日：①佐世保市「道の駅させぼつくす99」 ②平戸市道の駅昆虫の里たびら内「ふれあい友市」 ③「道の駅 生月大橋」



①道の駅させぼつくす99は5つの業者がそれぞれ1億円を出資し組合を作り、管理運営を株式会社エスプランニングに委託している。

②37軒の農家を会員とする協同組合が運営母体であり、平戸市からの補助金はゼロである。尚、農産物加工品では「かじめ入り野菜味噌漬け」は品切れが出るほどの人気商品であった。

③指定管理者「生月島体験観光協議会」が運営母体で、3名の女性職員と非常勤無報酬の役員8名が構成員で、27年度は指定管理料が280万円

である。水産物加工品ではクジラの皮、クジラの赤身入り味噌とクジラのジャーキーが好評となっている。

本町の道の駅は以上の3か所と比べ立地条件に恵まれ、来客数、売り上げは格段に多く、現状では町内農水産物の売り上げも好調であるが、今後の消費者ニーズの変化・動向や道の駅の更なる発展、売り上げ増を踏まえると、新鮮な野菜・魚をそのまま売ることと並行して、加工食品の開発も重要と思われる。

条例の制定・一部改正

東彼杵町水道事業の設置等に関する条例

平成29年度から簡易水道事業が水道事業へ変更となることから、地方公営企業法に基づく法適用事業となるため制定するもの。

東彼杵町水道事業職員の給与の種類及び基準に関する条例

平成29年度から簡易水道事業が水道事業へ変更となることから、水道事業職員の給与及び基準に関する条例を制定するもの。

東彼杵町水道事業の剰余金の処分等に関する条例

簡易水道事業が水道事業へ変更となることから地方公営企業法に基づき法適用事業となるため制定するもの。

東彼杵町税条例の一部を改正する条例

所得税法の一部改正に伴い本条例の一部を改正するもの。

彼杵簡易水道基幹改良事業水道管布設替工事(法音寺地区その4)請負契約の変更

国道部の水道布設替工事の変更による追加費用が発生したため。

変更前金額：5896万8千円、変更後金額：7257万6千円

契約の相手方：東彼杵町三根郷1856-7 有限会社山田組代表取締役 山田康徳

東彼地区保健福祉組合規約の変更

現在、町が実施している障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に規定されている障害支援区分の認定及び支給要否決定を行うための調査を共同処理するため規約の一部変更が行われた。

人事案件 賛成多数で同意されました

東彼杵町固定資産評価審査委員会委員

住所 東彼杵町木場郷
氏名 一瀬 利秋さん（再任）

人権擁護委員

住所 東彼杵町千綿宿郷
氏名 林 キトさん（再任）

議 会 活 動 報 告

総 務 厚 生 常 任 委 員 会

今年4月1日に大楠・音琴・彼杵3小学校が統合され、廃校となった旧大楠・音琴小学校の利活用について、両校区内の区長さんをはじめ地域住民団体の役員さん等との懇談会を開催しました。

旧大楠小校区内の主な要望

- いろいろな事業を展開する前に地域での説明会や懇談会を開催し、地域住民と協議をしながら進めてほしい。(旧音琴小校区内同一意見)
- 高齢者の健康づくりのための福祉施設はどうか。
- 先を見据えた持続的なことが出来る団体、または校舎を分割して貸し出してはどうか。
- 周辺住民のセキュリティ対策として街灯は消さないでほしい。
- 長期間利用しないと衛生面から水道水の管理を徹底してほしい。(旧音琴小校区内同一意見)
- 無償で貸し出すなら、地域住民が利用できるようにしてほしい。



坂本コミュニティーセンター 7月15日
(地域の皆さん約35名出席)



浦公民館 7月20日
(地域の皆さん約25名出席)

旧音琴小校区内の主な要望

- 青年部などが企画している夏祭りなどに使用させてほしい。
- エレベーターを設け、介護施設に利用したらどうか。
- 西部地区の避難場所であることも考慮してほしい。
- 風光明媚なところであるので、情報の発信を積極的に進めてほしい。(旧大楠小校区内同一意見)
- 草刈りなどの管理を徹底してほしい。
- 管理人を設けたらどうか。

両地区内においては、貴重な意見や提案がなされ、地域住民の方々の真剣な跡地利用についての思いが伝わり、両校については交通の利便性等地域の特色を活かし、更に経済性等も考慮しながら町の発展に繋がるような施策が望まれる。